

2008（平成 20）年度私立大学図書館協会西地区部会 東海地区協議会総会 議事要録

日時：2008（平成 20）年 5 月 28 日（水）10 時 00 分～16 時 00 分

場所：愛知淑徳大学長久手キャンパス（研究棟 2 階・K1 会議室）

出席：27 館 39 名

委任状提出館 24 館

議事に先立ち、理事校愛知淑徳大学図書館長（久保）より開会の挨拶が行われた。

続いて理事校愛知淑徳大学（武藤）より加盟 51 館のうち 27 館の出席があり、私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会会則第 8 条第 2 項＜総会は、加盟館の過半数の出席をもって成立するものとする。＞の要件を満たしているため本総会は成立しているとの確認が行われた。

【議長選出】

理事校愛知淑徳大学図書館長（久保）を議長に選出し、下記の議事を協議した。

【議事】

[報告事項]

以下の通り、資料に基づき理事校から一括報告した後、補足および質疑について当該委員長より報告および回答があった。

1. 2007（平成 19）年度東海地区協議会事業報告

理事校愛知淑徳大学（武藤）より総会資料（p. 5-7）に基づき、昨年度は総会および 3 回の常任幹事会が行われたとの報告があった。

2. 2007（平成 19）年度東海地区協議会研究会事業報告

理事校愛知淑徳大学（武藤）より総会資料（p. 8-9）に基づき、運営委員会ならびに「デジタルリソースの導入と活用」をテーマとした研究会および研究集会の活動が行われたとの報告があった。

3. 2007（平成 19）年度東海地区協議会図書館サービス・システム委員会事業報告

理事校愛知淑徳大学（武藤）より総会資料（p. 10-13）に基づき、委員会および各種会議の活動、E-コンテンツ説明会をはじめ、隔年で実施している見学会、情報交換会行われたとの報告があった。続いて同委員長校名古屋女子大学（尾崎）より昨年度総会にて同日開催を予定していた研究集会と情報交換会について、日程調整できなかったため別々の開催となった旨の補足があった。

4. 2007（平成 19）年度東海地区協議会図書館管理・運営実務責任者会議事業報告

理事校愛知淑徳大学（武藤）より総会資料（p. 14）に基づき、報告が行われた。

5. 2007（平成 19）年度協会関連事項報告

1) 部会・協会関係および関連団体報告

理事校愛知淑徳大学（武藤）より総会資料（p. 15-18）に基づき、報告が行われた。

2) 協会委員会報告

理事校愛知淑徳大学（武藤）より総会資料（p. 19-26）に基づき、協会委員会の報告が一括して行われた。

協会賞審査委員会では、3月6日の委員会において1件の推薦を決定し、翌日開催された東西合同役員会において採択された旨の報告があった。

研究助成委員会は、3件の申請がされた旨の報告があった。

国際図書館協力委員会は、搬送事業、海外集合研修、海外派遣研修、国際シンポジウムの活動が行われた旨の報告があった。

協会ホームページ委員会は、昨年度協議した加盟館名簿が公開された旨の報告があった。また東海地区協議会ホームページのアクセス状況について報告が行われた。

3) 私立大学図書館協会 2008 年度西地区部会総会について

理事校愛知淑徳大学（武藤）より総会資料（p. 25）に基づき、報告が行われた。

4) 第 68 回（2007 年度）私立大学図書館協会総会・研究会について

理事校愛知淑徳大学（武藤）より総会資料（p. 31）に基づき、報告が行われた。

6. その他

1) 新規加盟

理事校愛知淑徳大学（武藤）より、新規加盟 1 校の紹介があった。

（新規加盟）修文大学（2007. 4 開学・学校法人一宮女学園）

[審議事項]

1. 2007（平成 19）年度東海地区協議会決算（案）および監査報告

理事校愛知淑徳大学（武藤）より総会資料（p. 29）に基づき、標記決算案について説明が行われた。その中で、新規加盟があったこと、「館灯」の広告掲載費が増えたことなどにより、前年度繰越金（622, 280 円）より増の 931, 180 円を繰り越すことができた旨の報告が行われた。併せて総会資料（p. 30-32）に基づき、研究会、図書館サービス・システム委員会、図書館管理・運営実務責任者会議の決算案について説明が行われた。

引き続き、監事校名城大学（飼沼）より総会資料（p. 33）に基づき、決算案について 4 月 24 日に会計監査を行い、適正であると認められたとの報告があり、決算案は承認された。

2. 2008（平成 20）年度東海地区協議会役員校および委員校（案）

理事校愛知淑徳大学（武藤）より総会資料（p. 34）に基づき、2008 年度の役員校および委員校について説明があり承認された。

3. 2008（平成 20）年度東海地区協議会事業計画（案）

理事校愛知淑徳大学（武藤）より総会資料（p. 35）に基づき、標記計画のとおり実施するとの説明があり承認された。併せて協会ならびに関連団体の主な行事予定が紹介された。

4. 2008（平成 20）年度東海地区協議会予算（案）

理事校愛知淑徳大学（武藤）より総会資料（p. 36-38）に基づき、説明があり承認された。なお理事校愛知淑徳大学（武藤）より次のような補足説明があった。

- 収入については、加盟会費は四日市看護医療大学図書館の加盟により 5,000 円増、部会交付金は加盟館数に応じて交付され 1 館増で、5,500 円の増額となった。
- 広告掲載費は「館灯」への企業広告掲載によるもの（p. 38）であるが、昨年度大幅に増額した実績を予算案とした。
- 支出については、会議費については従来からの常任幹事会 3 回分のほか、新委員会ワーキング会議の経費のために、2 万円増額した。
なおこの会議費の項は、「新委員会についての審議が終了した後に、承認すべきでないか」という意見があり一時保留とし、新委員会についての審議後、この項のみあらためて承認を得た。
- 研究会および図書館サービス・システム委員会の支援費は、2 万円増額した。さらに図書館サービス・システム委員会支援費については、隔年の 1 泊研修会を開催する年度のため 7 万円増やし、合計 9 万円の増額とした。

5. 2008（平成 20）年度東海地区協議会研究会事業計画ならびに予算（案）

研究会幹事校同朋学園大学（國枝）より総会資料（p. 39-40）に基づき、「新しい図書館のサービス」をテーマにした活動と予算案について説明があり承認された。なお研究集会は、内容の多寡によって時間を決定するため現状では未定である旨の説明があった。

参加者より、過去の研究会は「収書」「整理」「奉仕」の 3 分科会において各図書館の担当者（同じ人）が研修に励む場であり、その後 1 分科会になり現在に至るという経緯が説明され、昨年（2007 年）度は「同一者の出席が望ましい」という方針で実施されたが、今年度はどのように計画しているのか、という質問があった。これに対して、「新しいサービス」というテーマのもと、「閲覧」「収書」などそれぞれの視点から 3 回の研究会を実施する予定であるが、今回は同一人の連続参加を必ずしも求めてはいないが、一方同一人の連続参加が望ましいという原則を忘れていないとの回答があった。

また、「図書館評価と満足度」を取り上げる第 3 回研究会について詳細が決まっていれば教えて欲しいという質問に対して、具体的な計画はまだであるが、方向性は 1・2 回を受けて図書館からの視点で評価等を考えたいという説明があった。

6. 2008（平成 20）年度東海地区協議会図書館サービス・システム委員会事業計画ならびに予算(案)

図書館サービス・システム委員会委員長校名古屋女子大学（尾崎）より総会資料（p. 41-43）に基づき、事業計画と予算案について説明があり承認された。

その中で委員会活動のほか、システム・ネットワーク化アンケートの内容検討、また隔年実施の実務担当者研修会では成果を持ち帰ることができるワークショップを行う計画であるほか、ホームページの刷新、メーリングリスト運用、横断検索検討会議、Web 活用研修会等の活動を予定している旨の説明があった。

7. 2008（平成 20）東海地区協議会図書館管理・運営実務責任者会議事業計画ならびに予算(案)

理事校愛知淑徳大学（武藤）より総会資料（p. 44）に基づき、事業計画と予算案について説明があり承認された。その中で今年度の内容が未定のため昨年同様の内容を想定して案を作成しており、早急に委員会を開催して内容を検討したい旨の説明があった。

8. 2008（平成 20）年度以降の東海地区協議会役員校および私立大学図書館協会理事校・当番校について

理事校愛知淑徳大学（武藤）より総会資料（p. 45-46）に基づき、2011 年度以降の東海地区協議会理事校のローテーションの確認がなされ承認された。

また 2013 から 14 年にかけて西地区部会の会長校、総会会場校、西地区総会会場校がローテーションで東海地区に回ってくるので、順次決めていく必要がある旨の説明があった。

9. 東海地区協議会活動の見直しについて

理事校愛知淑徳大学（武藤）より総会資料（p. 47-49）に基づき、東海地区協議会の運営体制の見直しについて、現在の二委員会（研究会、図書館サービス・システム委員会）を統合した「新委員会」のもとに、事業活動を整理・統合して効率的に活動する構想が報告され承認された。

また細部の検討を行う「新委員会ワーキンググループ」を組織し、中京大学を中心に準備活動する、という新体制への移行プロセスについても承認された。

10. その他

理事校愛知淑徳大学（武藤）より東海地区協議会誌『館灯 第 46 号』の表紙の印刷ミス、講演録の校正漏れについて説明があった。表紙は白抜き工程での印刷会社のミスであり、校正漏れは著者とのやりとりにおいて印刷会社に伝わらない部分があったため、との補足があった。

なお、善後策として別刷りを印刷し配付すること、これに係る経費（発送費）については予備費から支出する旨の説明があり承認された。著者からは理事校の対応を了承していただいている旨、付言があった。

また、電子版については修正ができ次第、完全版と差し替えをする。

【講演】

『医学情報サービスの進展：紙からデジタルへ』

愛知淑徳大学（文学部図書館情報学科） 野添篤毅 名誉教授

標題の講演が行われ、講演後に質疑応答があった。

以上